

# Application for Participation

## Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

### Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

#### Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校は広島県福山市の南部に位置する児童105名、教職員18名の小規模校である。学区内は田畑も多く残り、四季が豊かな里山に囲まれ、近くには山南川も流れ、緑と水に親しみの深い地域である。また古くから山南地域に伝わる伝承芸能「はね踊り」、平家の武者が隠れ住んだと伝えられている横倉地区「平家谷伝説」等、地域、学校として次代へ伝えていきたい歴史がある。

本校はこれまでこの歴史、自然環境等を生かして、教育課程として、地域学習をもととした学年に応じた環境の保全と創造に関する学習活動を行ってきた。学校が主体となり保護者、地域、企業、行政等と協働の視点で、地域に学び、地域の良さを実感しそして地域を生かし、自然を守り、ふるさと「山南」に貢献できる人間性豊かでたくましい山南っ子の育成を目的としてきた。

ユネスコスクールとしては、それらを発展させ、ESDの観点を明確にし、各児童に持続可能な社会の担い手に必要な知識、能力、態度、価値観を身につけさせることを目的として「環境守り隊1・2山南!～ふるさと山南の環境を守るためにわたしたちにできることは何だろう～」をテーマに総合的な学習の時間を中心に他教科と関連づけながら全校で実施する。

地域学習をもととした学年に応じた環境の保全と創造に関する学習活動として、次の4つの柱を設けている。①地域に学ぶ②環境学習③農業体験④緑化活動である。これらの活動を地域の関連先の協力のもと、協働の視点を持ち実施していく。その活動状況を国内外のユネスコスクールに向けてHP等で発信し、学校間ネットワークを広げるとともに、より良い活動に改善・発展させていく実践力を高める。

#### Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、「環境守り隊1・2山南!～ふるさと山南の環境を守るためにわたしたちにできることは何だろう～」をテーマに、地域学習をもととした学年に応じた環境の保全と創造に関する学習活動を行う。その際、地域の現状・諸課題を国内外の状況と関連づけ、この活動を通して各児童に持続可能な社会の担い手に必要な以下の力を身につけさせることで、広く発展的に社会へ働きかけていくことができる児童を育てることを目的とする。

「主体的に問いを立てて、他者と協働しながら解決していく力」

##### ①【自分から進んで取り組む力（主体性）】

目標やめあてを定め、自ら考え学ぼうとする態度

②【友達と協力する力（協働性）】

友達と協力して学んだり，地域の人と交流・対話したりして自らの学びを深めていく力

③【自分らしく表現する力（創造性）】

既存の知識・技能を活用して，自分の考えや意見，作品などを新しく創造する力

④【みんなのことを考えみんなのために働く力(社会貢献力)】

互いの存在や立場を尊重し，人や社会のために役に立とうとする自主的，実践的態度

### Execution（プロジェクトの実施）

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

<地域学習をもととした学年に応じた環境の保全と創造に関する学習活動>

#### ●地域に学ぶ

○伝統芸能「山南のはねおどり」（5年生）について調べ学習を行い，他学年に伝えることで地域に伝わる伝統を継承していく大切さを学ぶ。

○地域学習「平家谷伝説」（6年生）

\*平家の武者が隠れ住んだと伝えられる横倉地区の学習をもとに，ふるさと山南についての郷土愛を育てる。椿オイルづくり

○ゆず茶の販売（平家谷ボランティアガイド）

○地域の宝を紹介したいとの思いから，ふくやま FM での山南地域のラジオ紹介。  
(6年生)

○地域の花しょうぶ園を見学し，ボランティアの話聞いて，紹介ポスターを作成，地域に掲示。(3年生)

#### ●環境学習

○学校や家庭における省エネルギー推進活動

○エコ新聞作成，他学年，地域・保護者へ発表，環境出前授業，地域の清掃活動をもとに啓発ポスター作成，牛乳パックで作ったいす作り（4年生）

○空き缶，ペットボトル，ペットボトルキャップ，トレイ，段ボール等の回収活動

(児童会，環境委員会，4年生)

○PTA 資源回収活動

#### ●農業体験 【地域の方に年間を通じ指導していただく】

○さつまいもの栽培(1・2年生), 夏野菜・ミニトマトの栽培(2年生),  
かしわもち作り(2・4年生), 大豆の学習と栽培と豆腐作り (3年生)

○地域特産物ぶどう作り，育てたブドウを使ったジャム作り」，他学年，地域・保護者へ発表(5年生)

○特産物をもとにキャラクター「ブドウモリ」の活用（全校）

○いつもお世話になる地域の皆様をお招きしての「感謝の会」 (1・2年生)

●緑化活動

○福山の花バラ園の管理 ○パンジー・サルビア、ヒヤシンス等の栽培  
(環境委員会, 3・4年生)

○グリーンカーテン(ヘチマ・アサガオ)の設置

【協力・協働・連携関係にある関係先】

①福山市経済環境局環境部環境啓発課 (全般)

②JA 沼隈 (ブドウ作り等の農業体験全般)

③福山市文化財保護指導員 郷土史家上田さん

地域に根差した郷土の歴史の掘り起こしや、広く地域住民や小学校の児童に対しても、歴史の重要性を伝えてこられている。「沼隈町誌」の編集に携わり、発刊に尽力された。2016年内閣府「エイジレス章」受章

④「平家谷ふるさと振興会」(はねおどり・平家谷伝説等)

⑤「福祉を高める会」(豆腐作り・ブドウジャムづくり等)

⑥地球温暖化防止活動推進委員の三浦さん(環境学習)

**Type of materials to be used (使用する教材)**

①教具・教材

パソコン, 学区地図データ, 農作業用具, プランターなど

②書籍

「大好き!福山 ~ふるさと学習~」上・下巻 福山市教育委員会 2015  
沼隈町誌 沼隈町教育委員会 2004

③ウェブサイト

<http://www.unesco-school.jp/> ユネスコスクール公式ウェブサイト

<http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/shou-sanna/>

福山市立山南小学校HP

**Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)**

1 評価の材料

○新聞, ポスター, 調査レポート, 感想シート, 発表内容

○自己評価・他者評価シート

○各活動への取り組み姿勢・態度

2 評価方法

○各活動において, 自己評価シートを用いて児童が自己評価を行う。

○各活動において, 感想シート, 自己評価シートを教師が分析して評価し, 評価コメントとして児童に伝える。

○学期末・学年末に、学習の過程を記録したものや学習の成果をまとめたもの、自己評価したもの及び教師が観察した事実をもとに、教師が総合的に分析して評価し、評価コメントとして児童、保護者に伝える。

### 3 評価の時期

各活動の終了時及び学期末・学年末に実施する。

### 4 評価の観点

育てたい力	評価観点		
1 自分から進んで取り組む力 (主体性)	①目標 自分にとってふさわしい目標やめあてを決めて学習できる。 ABC	②積極性 グループやクラスでの話し合いの時に自分の考えや意見を積極的に出せる。ABC	③実行 グループや自分で決めた計画にそって進んで調べたり作ったり発表したりできる。ABC
2 友達と協力する力 (協働性)	④対話 自分の意見やアイデアを友達に納得してもらえるように説明し合える。ABC	⑤協力 グループワークの時に、友達と協力して課題やめあてに取り組める。ABC	⑥練り上げ 友達の良いところやアドバイスを生かし合って、より良い考えや作品を作れる。ABC
3 自分らしく表現する力 (創造性)	⑦発想 新しいアイデアや工夫はないかと、いつも自分で考えられる。ABC	⑧個性 じぶんらしい考えを生かして文章を書いたり発表したりできる。ABC	⑨質問 「なぜだろう?」「どうしてかな?」といつも質問を考えられる。ABC
4 みんなのことを考えみんなのために働く力 (社会貢献力)	⑩思いやり 相手の気持ちを考えながら、互いの存在や立場を尊重しようとする。ABC	⑪公共心 公共の利益のことを考えようとする。ABC	⑫自己有用感 人や社会の役に立てたことへの喜びや達成感を感じている。ABC

*On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.*

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間以上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職)

Institution's name (学校名)